

ふるさと納税に新たな返礼品

「ふるさと納税」とは

「生まれ育ったふるさとに貢献できる」「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる」納税制度として平成20年に創設されました。大都市と地方の格差の是正や、人口減少地域における税収減対策、地方創生などを主な目的としています。

飯舘村は、皆さんの応援がこもった「ふるさと納税」を、産業振興・教育環境の整備・村民の健康増進・景観向上などに活用させていただいています。

飯舘村の返礼品

飯舘村は、全国の方から、「ふるさと納税」を通してたくさんの応援をいただいています。村は、心を込めて感謝をお伝えできる飯舘村ならではの返礼品をと、村民の皆さんのご協力をいただきながら取り組みを進めており、新たな返礼品がラインアップに加わっています。

感謝を伝える返礼品を引き続き募集しています。

ご検討をされる方はぜひお問い合わせください。 問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

現在の返礼品の一覧は、以下インターネットサイトに掲載されています。
ふるさと納税の金額に応じて、返礼品を選ぶことができますようになっています。

飯舘村のふるさと納税、掲載サイトが増えました！

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

さとふる

ふるなび

auPAYふるさと納税

ふるラボ

KABU&
ふるさと納税

JRE MALL
ふるさと納税

セゾンの
ふるさと納税



飯舘村の日本酒



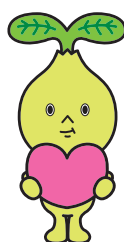
古今呂の宿福とみ



までい工房美彩恋人



工房マートル



極久里珈琲

第7次総合振興計画 策定作業が進んでいます

計画の位置づけ

総合振興計画は、飯舘村が目指す姿とその実現化の方針を総合的・体系的にまとめた本村最上位の計画です。計画書は行政運営の方針書であるとともに、目指す姿・目標を村民と共有し、対外的に村づくりの実現化の方針を表明する、村づくりを進めていくための羅針盤となるものです。村が取り組む全ての計画及び各種事業は、本計画に即して実施します。

現行の第6次総合振興計画の計画期間は、令和7年度末で終了します。第7次総合振興計画は、令和8年度からの10年間で目指す飯舘村の姿を新たに描いて策定しています。

最終の専門部会を開催しました

それぞれの分野について議論を深めてきた「なりわい」「健康」「教育」「生活」の4つの専門部会は、7月16日に第9回の会議を行い、専門部会としての最終案を取りまとめました。

ワークショップと有識者アドバイザーの講評

第9回は4部会合同で開催し、最後の時間まで議論を尽くしました。ワークショップで「各施策分野で目指すこと」を確認し、各部長が発表。有識者アドバイザーの鈴木典夫教授（福島大学）、岩崎由美子教授（福島大学）から講評をいただきました。また、「自分にできること」を書き出して、部会を越えて共有し、新たに生まれた気づきやアイデアを全体にも共有しました。



鈴木典夫教授

6次総は震災からの課題解決といった面が強くなっていたが、今回は「将来こうありたい」その実現のためにどう行動するかという未来志向型でまとめられている。一人ひとりの言葉にこれまで歩んできた道のりと誇りが見えた。若い方からもよいアイデアが出た。外と内をつなぐ人材が大事。役場任せにせず、自分達で外の人と交流し、アイデアを計画書に生かして欲しい。

飯舘村は住民自治の村という印象がある。土の香りのする、個性が見える計画にしていける必要がある。「自分にできること」は、自分に向けてと外に向けての両方で成立する。7次総が成案した後に、自分に何ができるかを探していくことが大事。「楽しくやること」を創るのもよい。そういうプロセスを踏むことで、村全体のよい方向ができていくと思う。



岩崎由美子教授

